

第9回 福祉の仕事を知るための 見学バスツアー 報告！！

去る10月23日、第9回福祉の仕事を知るための見学バスツアーが開催されました。参加者は19名、スタッフを含め29名でのツアーとなりました♪

今回は、放課後等デイサービス「ひだまりの樹」→檜の木福祉会「らちえっと」「かしの木の里」「フード&ベーカリーわがんせ」→グループホーム「はーとびあうる」にお邪魔し、盛り沢山の内容でした。それぞれの事業所見学の様子について報告します！

ひだまりの樹



「ひだまりの樹」は、「個性から生まれる笑顔」をコンセプトに、放課後等デイサービスを今年の8月にオープンした事業所です。建物の中は明るく、こどもさんが活動しやすいスペースが確保されていました。代表の方の話の中で、「本人、家族、社員、同業者の方など皆を笑顔にする」との思いを語られました。その

ため、スタッフも明るくエネルギッシュな方が多く、活気のある事業所だと思いました。

かしの木の里・らちえっと

かしの木の里は4階建ての建物で、2～4階の施設入所支援では、集団生活の中でも個々の支援を大事にされており、プライベートも出来るだけ確保できるようにスタッフが心掛けてみえました。

らちえっとでは重症心身障害の方が日中活動(プリン作り)をしていました。呼吸器が必要な方もおられ、看護師や保育士等専門性を生かしながら利用者さんの生きがいの場所を作ってみました。

また、らちえっとの喫茶店で昼食(スパゲティー)を頂きました。今回は事業所のスタッフに対応してもらいましたが、いつもは当事者の方がウェイターやウェイトレスとしてお仕事をされているそうです。自然の木々に囲まれた癒しスポットです。



フード&ベーカリー わがんせ



就労継続 B 型事業所の「わがんせ」は障害をもった方たちがパンやお弁当の製造事業を通して地域で働く社会参加の場所です。「わがんせ」という店名はお客様を笑顔でおもてなしするという意味でつけられたそうです。店内に入ると焼き立てパンの甘くて香ばしい香り…種類も豊富でしかも、とっても魅力的な値段に感動します。参加者の皆さんも次々とトレーにパンをのせて買い物を楽しまれていました。店内には無料のコーヒーをいただけるサービスもあり、

丁寧に接客、レジ打ちをされる利用者さんの姿に感心しながら、おいしいものに囲まれて生き生きと働く利用者さんや事業所のスタッフをうらやましく思いました。

私たちがお邪魔している間にも、ひっきりなしに地元の方が来店され、お気に入りのパンを買われていく自然な姿に、地域に愛され、親しまれているあったかいお店であることが伝わってきました。

はーとぴあうるる



「うるる」は、主に精神障害を持った方が入居できるグループホームです。お邪魔した時間は、利用者の方はほとんど日中の活動場所へ出かけており、とても静かな空間でした。一人残られていた利用者が出迎えられ、暮らしぶりについて「ま、いいよ。食事は人（世話人）によって色々だけどな（笑）」と教えてくれました。世話人と、利用者が協力しながら生活が成り立っ

ているんだなぁと感じました。室内はまだ新しく、木の落ち着いた空間です。施設長からは、「ホームは介護ではない。本人の状況によって、自分でやらしてもらったり、一緒にやったり、世話人が代行したりということをしている。」また、(残念ながら、現在募集はないとのことですが)「世話人は知識がたくさんあるとかではなく、精神に障害を持った方と関わりたいという気持ちのある人に来て欲しい」とのお話があり、参加者の皆さんも関心を持って話を聞いておられました。

最後に…

9回目を迎えたバスツアー！少しずつ参加者が増え、有難いことに市外でもこの活動が認知されるようになってきました。

一人でも福祉の仕事に興味を持っていただき、輪が広がっていくことを願って、私達もより良い企画を提供できるよう頑張ります！

次回も、皆さんの参加をお待ちしております☆